

●行政情報●

令和5年度農林水産関係補正予算の概要 (いも類関係)

令和5年度農林水産関係補正予算は総額8,182億円で、以下の5項目で構成されている。

- 1 食料安全保障の強化に向けた構造転換対策
- 2 物価高騰等の影響緩和対策
- 3 「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づく施策の実施
- 4 持続可能な成長に向けた農林水産施策の推進

5 防災・減災、国土強靱化と災害復旧等の推進

いも類関係は『持続可能な成長に向けた農林水産施策の推進』の中で、サツマイモ基腐病等の病害抑制と生産拡大の両立、種ばれいしょへの供給力強化対策、労働負担軽減、環境に配慮した生産体系の確立等への取り組みの支援が措置されている。

いも類関係の主要施策の概要は以下のとおり

○ 持続的畑作生産体制確立緊急支援事業 (関連事業：産地生産基盤パワーアップ事業 持続的畑作確立枠 600百万円)

<対策のポイント>

畑作産地において、病虫害の発生、需要の変化、労働力不足等に対応するため、サツマイモ基腐病等の病害抑制と需要に応じた生産拡大の両立、種ばれいしょの供給力の強化、労働負担軽減、環境に配慮した生産体系の確立、豆類・そばの安定生産体制の強化、砂糖の需要拡大等の取組を支援します。

<事業目標>

- かんしょの生産量の増加 (86万t [令和12年度まで])
- ばれいしょの生産量の増加 (239万t [令和12年度まで])

<事業の内容>

1. 国産需要の高い作物の生産拡大等支援

- ① ばれいしょの生産拡大のため、種ばれいしょの新産地形成や実需と連携した産地モデルの育成、病害抵抗性品種の導入等の取組を支援します。
- ② 豆類、そばの安定生産のため、豆類の複数年契約取引の拡大や新品種の導入、そばの湿害対策技術の導入や複数年契約取引の拡大等の取組を支援します。
- ③ 労働負担の軽減を図るため、基幹作業の外部化や省力作業機械の導入等の取組を支援します。
- ④ 需要の高い作物の増産を図るため、てん菜の一部を需要の高い作物に転換する取組を支援します。

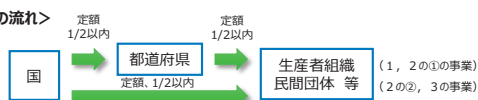
2. 環境に配慮した生産体系確立支援

- ① 環境に配慮した生産技術確立のため、化学農薬や化学肥料の投入量を低減した栽培方法の実証等の取組を支援します。
- ② かんしょの病害抑制のため、交換耕作の導入・拡大や継続栽培等の取組を支援します。

3. 砂糖等の新規需要開拓支援

甘味資源作物の持続的な生産を確保するため、加糖調製品から国内で製造された砂糖を用いた調製品への置き換えを促すための市場調査やマッチング・PR、新製品開発等の取組を支援します。また、甘味資源作物の他用途利用を図る取組を支援します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

畑作産地を取り巻く環境の変化や課題

- ・かんしょや加工用・でん粉原料用ばれいしょ、豆類、そば等の需要の高まり
- ・労働力不足の顕在化・難防除病虫害等の発生リスク
- ・減化学農薬・減化学肥料などの環境意識の高まり 等



様々なリスクや環境の変化への対応力強化・生産性向上による
持続可能な畑作生産体系の確立に向けた取組を支援

国産需要の高い作物の生産拡大

- ・種ばれいしょの新産地形成、実需と連携したばれいしょ産地モデルの育成等を支援
- ・豆類の複数年契約取引の拡大や新品種の導入を支援
- ・そばの湿害対策技術の導入や複数年契約取引の拡大等を支援
- ・基幹作業の外部化や省力機械の導入等の取組を支援
- ・てん菜の一部を需要の高いばれいしょや豆類等に転換する取組を支援

環境に配慮した生産体系確立

- ・減化学農薬・減化学肥料など環境に配慮した生産を拡大するための実証等を支援
- ・交換耕作の導入・拡大、継続栽培等を支援

砂糖等の新規需要開拓

- ・市場調査やPR等の取組、新たな製品開発のための機械設備等の導入を支援
- ・甘味資源作物の他用途利用に向けた取組を支援

関連事業：産地生産基盤パワーアップ事業 (持続的畑作確立枠 (600百万円))

持続可能な畑作生産体系の確立に向けた農業機械等の導入を支援。
(別途、畑作産地の課題に沿った成果目標を設定)

【お問い合わせ先】 農産局地域作物課 (03-6744-2115)

○ 甘味資源作物産地生産体制強化緊急対策事業

【令和5年度補正予算額 2,628百万円】

＜対策のポイント＞

離島等の地域経済・雇用を支えるさとうきび・かんしょの生産者、分みつ糖工場やでん粉工場の持続的な生産体制の構築を図るため、生産性向上の取組、サツマイモ基腐病等の病害対応の取組、分みつ糖工場の省力化による労働生産性を高める取組等を支援します。

＜事業目標＞

- さとうきびの単収の向上・安定化（6,230kg/10a〔令和7年度まで〕）
- さとうきびの10a当たり労働時間の削減（30.9時間/10a〔令和7年度まで〕）
- かんしょの生産量の増加（86万t〔令和12年度まで〕）

＜事業の内容＞

- 1. 甘味資源作物生産性向上事業 1,693百万円**
- ① **さとうきび生産性向上支援事業**
さとうきび産地の持続可能な生産体制の構築を図るため、島嶼部における労働力確保に向けた取組や土壌の特徴に応じた地力増進の取組等、島ごとに策定したさとうきびの生産性向上のための取組計画を支援します。
- ② **かんしょ生産性向上支援事業**
サツマイモ基腐病の次期作への影響を最小限にしながら、かんしょの持続的な生産を行う取組やでん粉原料用かんしょの生産性向上や省力化に資する取組を支援します。
- ③ **砂糖製造業等生産性向上緊急支援事業**
ア 分みつ糖工場について、労働力不足に対応するため、省力化による労働生産性向上等の取組を支援します。
イ いもでん粉工場について、生産コスト低減等の取組を支援します。

- 2. 甘味資源作物生産性向上緊急整備事業 936百万円**
- ① 著しく老朽化した分みつ糖工場の大規模整備、集中管理・自動化等省力化による労働生産性向上等に必要な施設整備を支援します。
- ② いもでん粉工場の衛生管理の高度化、生産コストの低減等に必要な施設整備を支援します。
- ③ 健全な苗や種いもの供給体制の強化に必要な施設整備を支援します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

さとうきび生産性向上支援事業

島嶼部における労働力確保や近年の単収低下等、島ごとに抱える課題に対応した生産性向上のための取組を支援。

＜生産性向上の取組例＞

- 機械化・省力化による省力化
- 短い生育期間に向けた研修会
- 堆肥等を活用した土づくり

地域の生産体制を支える担い手等の育成や省力化による労働生産性・単収向上により、離島において代替の効かないさとうきびの持続的な生産体制の構築を促進。

かんしょ生産性向上支援事業

・サツマイモ基腐病を防止し、かんしょの持続的な生産を行うのに必要なほ場条件の改善、健全な種いも・苗の確保、他作物転換等を支援。

・でん粉原料用かんしょの生産性向上のための多収新品種への転換、廃プラ排出抑制のための生分解性マルチの導入、省力化に資する農業機械の導入等を支援。

健全な苗の確保

多収新品種（にんしほ）への転換

生分解性マルチの導入

分みつ糖・いもでん粉工場

分みつ糖工場については省力化・効率化に向けた人員配置、工場工程の見直し及び施設整備など労働生産性向上等に必要な取組を、いもでん粉工場については衛生管理の高度化や生産コスト低減等に必要な取組を支援。

・集中管理や自動化等による省力化施設の導入、改良

・原料糖の共同配送など離島間の糖業の連携、人材の確保、育成に向けたモデル的取組 等

労働生産性の向上 集中制御室等整備

【お問い合わせ先】 農産局地域作物課（03-3501-3814）

○ 食料安全保障強化に向けた革新的新品種開発プロジェクト

【令和5年度補正予算額 500百万円】

＜対策のポイント＞

人手を多く必要とし生産性の向上が求められている品目について、生育・栽培特性をスマート技術向けに改良した品種を開発し、高い生産性と環境負荷低減の両立を推進します。

＜事業目標＞

スマート技術に対応した品種を開発し、農作業のスマート化を図り、生産性の向上等を推進〔令和12年度まで〕

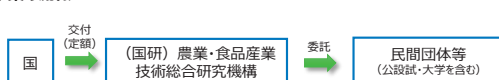
＜事業の内容＞

スマート技術向けの特性を持つ新品種の開発

人手を多く必要とし生産性の向上が求められている果樹、野菜、大豆、イモ等を対象とし、品目ごとにスマート技術の効果を最大限に発揮できる最適な特性へと改良した基盤的新品種を開発します。

さらに、開発品種を遺伝子ドナーとして自治体や民間の品種開発に活用して全国に展開することにより、スマート農業の普及を推進します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

（写真：農研機構）

スマート技術に対応した特性の例

- ・機械収穫作業に対する収穫物着生位置の最適化
- ・収穫物の打撲耐性の向上や硬肉化 等

＜果樹＞

壁状に結実させられることからロボットアームで収穫しやすいボンナン

＜イモ＞

皮剥け（左上）や折れ（左下）が少なく収穫しやすいカンショ

＜野菜＞

果実が葉より下に実りロボットアームで収穫しやすいイチゴ

【お問い合わせ先】 農林水産技術会議事務局研究統括官（生産技術）室（03-3502-2549）